

乳腺外科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ  
「乳癌患者におけるドセタキセル+シクロホスファミド療法  
に対する予防制吐療法の治療効果に関する過去起点コホー  
ト研究」への協力をお願い

薬剤部・乳腺外科では、過去に下記のような診療を受けた患者さんのデータを用いた臨床研究を行います。患者さん個人のお名前や、個人を特定できる情報は一切公表しません。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

**研究目的：**本研究では、乳癌に対してドセタキセル+シクロホスファミド療法を実施された患者において、セロトニン受容体拮抗薬+デキサメタゾン+アプレピタントによる予防制吐療法の有効性と安全性及び、悪心・嘔吐に関する患者に関連するリスク因子について検討します。

**研究内容：**本研究は電子カルテ、看護記録、薬剤管理指導業務支援システムに記録されている情報を抽出して行う疫学研究です。抽出する情報としては、患者情報（年齢、性別、身長、体重、飲酒歴、喫煙歴、以前の化学療法による悪心・嘔吐の経験、診断名、staging）、処方情報（抗がん薬、制吐療法、その他の併用薬剤）制吐効果（悪心・嘔吐の発現状況、救済療法の使用状況等）、その他、治療や有害事象に関する記載情報です。

**対象：**2013年1月1日から2022年12月31日までに乳腺外科において、乳癌に対してドセタキセル+シクロホスファミド療法が実施された患者さん。

**研究期間：**許可日から2025年12月31日まで

**研究への参加辞退をご希望の場合**

この研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。この研究では当科において既に管理している患者さんのデータを研究用に個人が特定されないように加工して使用させていただきます。患者さん個人のお名前や、個人を特定できる情報は一切公表いたしません。

この研究に関して不明な点がある場合、あるいはデータの利用に同意されない場合には、以下にご連絡ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会での審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。

また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

**研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反**

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

この研究に関して不明な点がある場合は、以下にご連絡ください。

**連絡先**

岐阜大学医学部附属病院 薬剤部

電話番号 058-230-7088

研究責任者：飯原 大稔

**【苦情窓口】**

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係

〒501-1194

岐阜県岐阜市柳戸1番1

Tel：058-230-6059

E-mail：rinri@gifu-u.ac.jp